

令和6年5月吉日

パナソニック松九会 歩こう会の皆さんへ

世話人：小林えいじ、原田やすひこ

第123回 歩こう会

「直方市をめぐる・時空を超えた散策」のご案内

今回は、九州で唯一鮭が遡上してくる川としても有名な遠賀川近くの宿場町 直方市を、時空を超えて散策します。昨年2月訪問した長崎街道と遠賀川の水運で栄えたあの木屋瀬宿の隣に位置しています。

南北朝時代には、“皇方（のうがた）”の名がついたといわれています。1623年には、福岡藩から分封されて妙見山に直方藩を起しますが、藩主3代目で直方藩は消滅しました。

遠く縄文時代は、今より温暖だったため、現在より海水面が3~5m程高く、現在の遠賀川下流には古遠賀湾（こおんがわん）と呼ばれる入海がありました。

明治から昭和51年までの100年間で8億トンの石炭を算出し、日本の産業発展と近代化に貢献しました。

石炭産業が栄え、筑豊炭田の石炭の集積地と問屋機能を果たし、かつては、鉄道輸送の拠点を誇りました。

「筑豊」は、筑前と豊前にまたがる地域を指していますが、今回は、直方にあります国指定史跡 筑豊炭田遺跡群・直方市石炭記念館を訪れて、石炭に関するいろんな事柄を学びます。筑豊の五大炭鉱王 堀三太郎氏の自邸、現直方歳時館を見学し、板の間の2部屋を昼食の場として利用します。お弁当持参、お忘れなく。



縄文時代の海岸線（想定図）



とき：令和6年6月4日（火）

ところ：○集合： JR直方駅前 10時30分

① 博多駅発 9時30分→直方駅 10時27分

② 解散： JR直方駅前 直方駅発 14時14分→博多駅 15時17分

③ コース：JR直方駅 → 多賀神社 → 直方市石炭記念館 →

10：35 10：45~10：50 10：55~12：00

直方歳時館（昼食） → 直方レトロ地区 → 殿町商店街

12：10~13：00 13：05 13：10

→ アートスペース谷尾 → 古町商店街 → 明治町商店街 → JR直方駅

13：20~13：25 13：30 13：40 14：00頃

会費： 400円（石炭記念館入館料、歳時館使用料含む）

<お知らせ>

1. 集合場所

- ① JR：JR 直方駅
- ② 自家用車の方： 無料駐車場はありません。

2. 歩くコースと距離

- ①坂道や階段がありますので、各自の体調に合わせて ゆっくり進んでください。
- ②杖があれば万全です。
- ③天候次第では、滑りやすい場所がありますので、滑りにくい履物をお願いします。



3. 必ず、弁当・お茶をご持参ください。

連絡先：小林えいじ： 携帯 080-6410-1949 FAX:092-324-4821
原田やすひこ：携帯 090-1516-5699

.....切.....取.....線.....

第 1 2 3 回歩こう会・出欠連絡書 (5月29日まで申し込み)

令和6年5月 日

氏 名		
	<input type="text"/>	<input type="text"/>
参加有無	<input type="checkbox"/> する (人)	<input type="checkbox"/> しない
交通機関	<input type="checkbox"/> JR	<input type="checkbox"/> (自家用車)

申し込み先：小林えいじ F A X : 092-324-4821 メール：candy12@jcom.home.ne.jp

原田やすひこ：yhara@hi-ho.ne.jp